

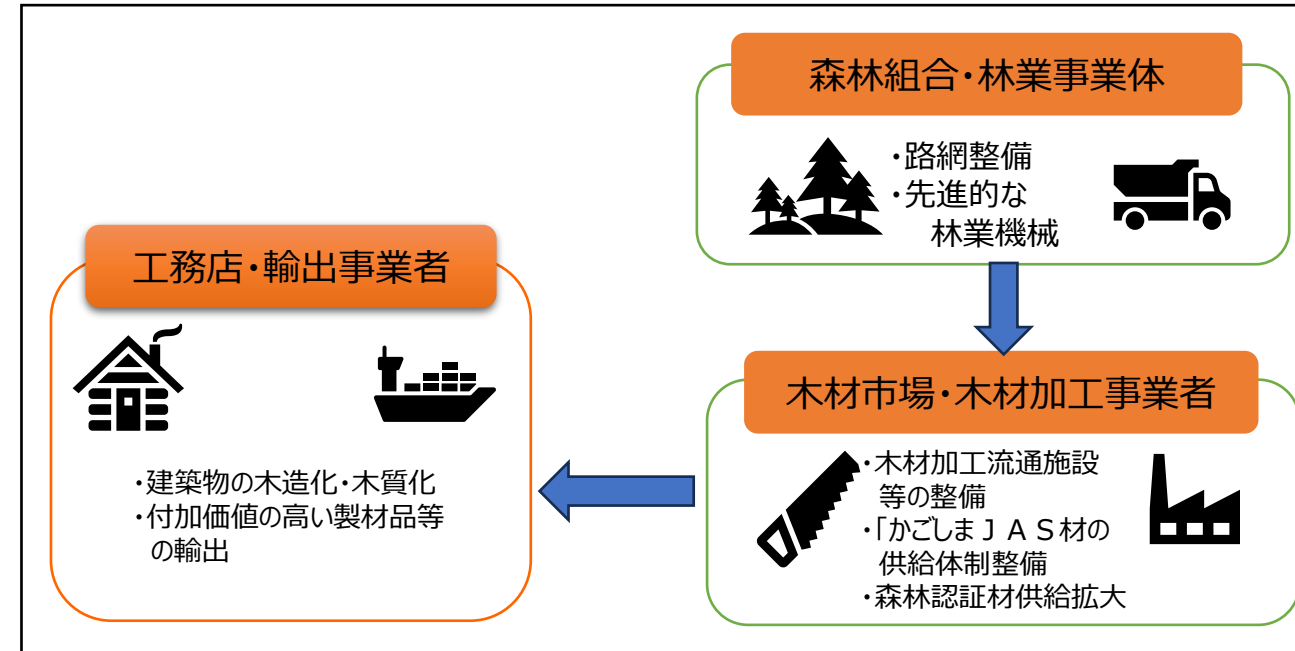
1. 支援する分野

林業分野

2. 支援する地域及び核となる事業者

地域：鹿児島県全域

事業者：森林組合、林業事業体、建設業者、
木材市場、木材加工事業者、設計者を含む
工務店、県産材輸出サポーター



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・本県の森林資源は、9割以上が利用期
- ・木材の大きな需要先である住宅分野は、人口減少に伴い縮小、国は木造率が低位な非住宅分野を推進
- ・都市部を中心に非住宅建築物における木造化・木質化の広がり
- ・木造建築に必要な部材（CLT、JAS構造用製材など）が、全てそろそろ九州唯一の県
- ・環境志向やSDGsへの関心の高まりから、森林認証材の需要が増加傾向
- ・県産材輸出は増加しているが、丸太が中心

（2）目指すべき目標

付加価値増加額（KGI）：10億円
（R6：23億円 ⇒ R18：33億円）

4. 勝ち筋

【生産・供給体制強化】

- 生産・供給体制を強化し、木材生産量を増加
- 非住宅建築物の建設に必要な品質・性能が確かな製材品等の生産体制を強化

【利用拡大・需要創出】

- 本県の強みを活かし、県内外の非住宅建築物の木造化・木質化の需要を獲得
- 付加価値の高い製材品の輸出拡大
- 森林認証取得により、製材品の付加価値を高め、販売価格を上昇

5. 政策手段

【生産・供給体制強化】

- ・林道等の路網整備や先進的な林業機械の導入、中間土場の活用などにより、原木流通の合理化
- ・新たな木材加工流通施設や乾燥施設等の整備、品質や性能が確かな「かごしまJAS材」の供給体制を整備

【利用拡大・需要創出】

- ・建築物木材利用促進協定の締結等により、非住宅建築物の木造化等を促進
- ・ターゲットとなる米国等への市場調査や、展示会への出展、トライアル輸出等に取り組む
- ・森林認証の取得に係る取組や経費を支援し、森林認証材の供給体制を構築